

反歌

去年之春、相有之君爾、戀爾手師、櫻花者、迎來良之母、

右二首若宮年魚麻呂

〔草木六部耕種法<sup>十一</sup>〕櫻ト梅トハ種類ノ極メテ多キ者ナリ、共ニ百餘種ツ、有リ、○中且ツ櫻品中ニ於テ、古來ヨリ其名高キ者ハ、彼岸櫻、寒緋櫻、香櫻、月白櫻、樺櫻、下垂櫻、紅絲櫻、上瑞櫻、八重櫻、熊谷櫻、流黃櫻、常盤櫻、犬櫻等ナリ、彼岸櫻ハ花單ニシテ小ク、下垂ナルヲ絲櫻ト云フ、寒緋櫻モ花ハ單ニテ紅キ色ナリ、此二種ハ花開コト最早シ、八重ハ花開クコト遲シ、熊谷櫻ハ八重ナレドモ花早シ、八重櫻ノ花ノ最モ遅ク開ヲ泰山府君ト名ク、犬櫻モ二種アリ、其一ハ單ナル山櫻ナリ、其二ハ彼岸櫻ノ如クニシテ、其花ノ種ヲ抽ルコト上瑞櫻ニ似タリ、花瓣ノ細ナルコト毛ノ如キ者ナリ、

〔地錦抄<sup>三</sup>〕櫻のるい木春中末

櫻は、尊く、花莖長く、色ありて、咲

吉野のあしん、ひとへ、山櫻のさいふ、吉野より出るたは、花多し、咲て見事也、古今序に、春

なでん、うすむらさき、八重

奥州なでん、咲て、咲ゆへ、櫻の枯には、是なつく、

楊貴妃、うるわし、色あり、大

きりがやつ、大八重、ひとへ、有、

ちやうちん、八重、大り、さん、く

大手鞠、く、あり、す、い、ぶ、ん

小手鞠、り、ん、小

大ちやうちん、ほ、右之花形、成

わしの尾、よ、ほ、ど、色あり、大

らいてう、よく、く、むらさき、八重、

とらの尾、色あり、大り、ん、く

淺黄、水あさぎ、色、八重、

まだれ、少、色、有、ひ、と、へ、小、まり、ん、木、は、お

ひが、ん、分、花、咲、秋、の、色、ひ、と、へ、小、り、ん、二、月、時、正、の、時

大まだれ、花、形、つ、れ、の、ま、だ、れ、也、木、ま

色、よし、ま、だ、れ、花、形、色